

メディアアーティスト／絵本作家の岩井俊雄がディレクション

体験・発見・つくる —— 映像のプレイグラウンド！  
「メディアアート・スタディーズ2023：眼と遊ぶ」  
2023年7月7日（金）よりCCBTにて開催

19世紀の映像装置の体験展示と自分でつくる創作コーナー、岩井俊雄の代表作の展示を総合的に展開。メディアアート史を革新した岩井俊雄の「時間層」シリーズを約25年ぶりに公開するほか、大人気シリーズの絵本「100かいだてのいえ」をモチーフにした作品も特別展示！



シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT] では、2023年7月7日（金）から8月20日（日）まで、メディアアーティスト／絵本作家の岩井俊雄ディレクションによる「メディアアート・スタディーズ2023：眼と遊ぶ」を開催します。本プログラムでは、アート&テクノロジーの基本である「映像」の仕組みや原理を「体験する、発見する、つくる」ためのプレイグラウンドをオープンします。

私たちの周りにはかつてないほどたくさんの映像が溢れていますが、このプレイグラウンドは、その起源をひもとき、映像がもつ本来的な面白さや感動に出会う場です。19世紀の映像装置のレプリカ約20種類すべてを実際に触って体験できるほか、メディアアート史を革新した岩井俊雄の代表作「時間層」シリーズを再生し、約25年ぶりの展示が実現します。さらに、来場者が自ら映像装置をつくれる創作コーナーを設置し、会期中には多数のワークショップも開催します。夏休み期間中、ぜひお誘い合わせのうえご来場ください。

開催概要

岩井俊雄ディレクション「メディアアート・スタディーズ2023：眼と遊ぶ」

会期：2023年7月7日（金）～8月20日（日）13:00～19:00 ※月曜休館（祝日の場合は開館、翌平日休館）

入場無料 会場：シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]



公式サイト： <https://ccbtr.kibun.or.jp/events/playingwithyoureyes>

主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]

企画協力：東京都写真美術館

本プレスリリースに掲載の画像は、<http://bit.ly/45V7kmP> よりダウンロードください。



※内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただきますよう、よろしく願い申し上げます。

【広報に関するお問い合わせ】

シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT] (公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京) 担当：廣田・小林  
電話：03-5458-2700 ※13:00～19:00 (火～日) Email: [ccbtr@rekibun.or.jp](mailto:ccbtr@rekibun.or.jp)

## 1. 見どころ

2022年10月に渋谷にオープンした、シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT] は、アート、テクノロジー、デザインをテーマにした様々なプログラムを通じ、参加する人々すべてが創造性を発揮する、広く開かれたプラットフォームを目指しています。

メディアアーティスト／絵本作家の岩井俊雄ディレクションによる「メディアアート・スタディーズ2023：眼と遊ぶ」は、映像体験の豊かさに出会うプレイグラウンドです。本プログラムでは、CCBTが有するアート&テクノロジーのクリエイション機能を活かし、貴重資料のレプリカ製作やメディアアート作品の修復や再生に専門家とともに取り組んでいます。これにより参加性と体験性を高め、映像がもつ本来的な面白さや感動に出会う、これまでにない展覧会の構成＝プレイグラウンドを実現します。

プログラムディレクション：橋本典久（プリミティブメディアアーティスト）、明貫紘子（キュレーター、アーカイブ研究者）

### ① 「時間層シリーズ」を修復&再現し、約25年ぶりに公開

タイムベースト・メディアを用いた美術品の修復・保存については、メディアの耐久年限や機材生産の終了から代替が効かないといった緊急性が認識されており、海外の美術館では組織的な対応が進んでいます。今回、CCBTでは、こうした課題への対応策として、東京都写真美術館と連携し、岩井俊雄の初期代表作「時間層」シリーズの修復と再現に取り組みます。

岩井俊雄 「時間層Ⅲ」(1989)



### ② 19世紀の映像装置をレプリカとして再現。すべて体験可能！

東京都歴史文化財団では、2021年度より美術館・博物館の収蔵資料のデジタル化と公開に取り組んでいます。今回、CCBTでは東京都写真美術館の映像装置のコレクションのデータを利活用し、レプリカを製作します。同美術館が有する貴重資料のデジタルデータを利活用するモデルケースとして、アプリケーション機器等を用いた体験可能なレプリカの製作に取り組みます。

参考写真：武蔵野美術大学「映像基礎実習」の様子



### ③ 来場者もつくれる創作コーナーを開設。会期中には多数のワークショップも。

本プログラムでは、映像の起源から岩井俊雄の初期代表作までをたどりながら、アート&テクノロジーのインスピレーションを発見できる機会の創出を目指しています。会場内には、映像装置を自ら製作できる創作コーナーや、アーティスト等を講師に迎えたワークショップなど、体験して理解する、楽しめる仕掛けがたくさん詰まっています。

参考写真：CCBTアートxテックラボ「プラクシノスコープをつくらう in CCBT」(2023)

講師：橋本典久 撮影：佐藤基



総合ディレクター

## 岩井俊雄（メディアアーティスト／絵本作家）

1962年愛知県生まれ。大学時代に「時間層Ⅱ」で第17回現代日本美術展大賞を最年少受賞。その後メディアアートの先駆者として、テレビ番組『ウゴウゴルーガ』、三鷹の森ジブリ美術館「トトロびよんびよん」、ニンテンドーDS『エレクトロプランクトン』、ヤマハとの電子楽器『TENORI-ON』を始め、さまざまな作品を手がける。1996年には、坂本龍一とのパフォーマンスでアルスエレクトロニカのグランプリを受賞。2006年より、絵本作家としての活動を開始。2008年刊行の『100かいだてのいえ』は、シリーズ累計400万部を数える。2022年にはこれまでの創作活動の全貌に迫る個展「どっちがどっち？ いわいとしおx岩井俊雄-100かいだてのいえとメディアアートの世界」を茨城県近代美術館にて開催。



## 2. 展示構成

「映像」の仕組みや原理を「体験する・発見する・つくる」ための3つの構成のプレイグラウンド

### 体験しよう 視覚装置と特別展示

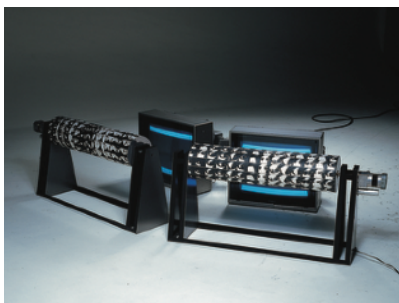
ソーマトロープ、フェナキスティスコープ、ブラクシノスコープなど、19世紀に発明された様々な視覚装置。実際に動かしてみると「動かないはずの絵が動いて見える」という感動に改めて出会えます。19世紀の貴重な装置を3Dプリンタなどで精巧に再現したレプリカや、それらを独自に発展させた作家の作品など、約20種類の装置を実際に触って体験することが可能です。



岩井俊雄「立体ゾートロープ」(1988年)

### 発見しよう 時間層シリーズの再生

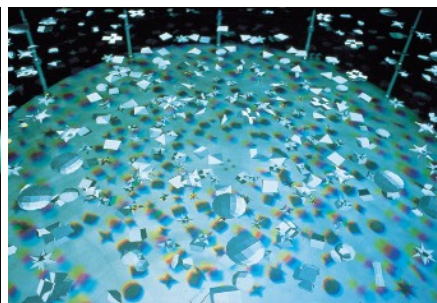
テレビをストロボ光源として使い、目の前の絵や物体をアニメーションのように動かして見せる岩井俊雄の初期代表作「時間層」シリーズ(1985~90年)。その後、三鷹の森ジブリ美術館の「トトロぴよんぴよん」につながったこれらの作品は、使用された機器の経年劣化などの理由で、この25年間公開される機会はありませんでした。今回、CCBTでは、日本のメディアアートを切り拓いた本シリーズのうち、失われていた3作品(時間層Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ)の修復・再現に作家とともに挑戦します。



岩井俊雄「時間層Ⅰ」(1985)



岩井俊雄「時間層Ⅲ」(1989)



岩井俊雄「時間層Ⅳ」(1990)

### つくってみよう ハンズオンとワークショップ

映像の原理や仕組みを体験したら、こんどは自分で作って、試してみよう！創作コーナーでは実際に手を動かし、動画や装置の製作にチャレンジできます。CCBTでは、講師や美大生による作例も紹介。夏休み期間中には、講師によるワークショップも開催します。

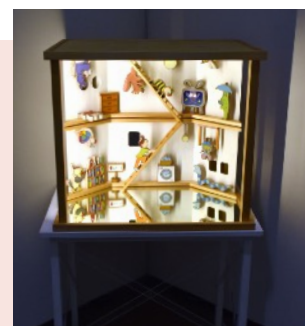


参考写真：CCBTアートxテックラボ  
「ブラクシノスコープをつくる in CCBT」(2023)  
講師：橋本典久 撮影：佐藤基

#### 特別展示

#### いわいとしお「かがみの100かいだてのいえ」(2022)

子供たちに大人気の絵本「100かいだてのいえ」。縦に高く高くつながるその絵本のイメージを、作者自らが合わせ鏡を使って立体化した「かがみの100かいだてのいえ」を特別展示。メディアアートと絵本、両方のジャンルで先鋭的な作品を生み出す作家の最新作をぜひ肉眼で体験してみてください。あなたの眼はどこまで不思議を見つけることができるかな？



### 3. ワークショップ 参加無料/要事前申込

※プログラム詳細や申込方法はCCBTウェブサイトをご確認ください。

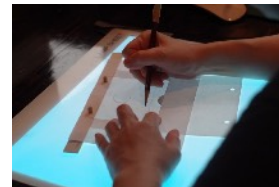
#### ▶見て描く・想って描いて・遊んで見る “くるり～オ”で体験するアニメーション作りの基礎講座

7月22日(土) 14:00～17:00 講師：大高那由子 (アニメーション作家、イラストレーター)

対象：中学生以上 定員：15名 (先着順)

持ち物：いつもお使いのカメラ機能付端末 (スマートフォン推奨)

作家オリジナルの視覚装置「くるり～オ」を使って、アニメーション制作の基礎を体験するワークショップ。絵が動く仕組みを実践的に学ぶことができます。



#### ▶みんなでつくろう！ 赤青アニメ

※手話通訳つき

7月29日 (土) 11:00～12:30 講師：岩井俊雄

対象：小学生 定員：20名 (先着順)

赤と青のペン2本で、誰でも簡単に作れる「赤青アニメ」に挑戦します。みんなの自由な発想でキャラクターを動かしたり、全員で楽しい「うごくまち」を作ります。



#### ▶つくって、動かす！ “くるり～な”でアニメーションをつくろう

7月30日 (日) 14:00～16:00 講師：大高那由子 (アニメーション作家、イラストレーター)

対象：小学生 (1・2年生のみ親子参加も可能!) 定員：15名 (先着順)

作家オリジナルの視覚装置「くるり～な」を使って、アニメーション作りに挑戦するワークショップ。くるり～なを組み立て、自分で描いた絵を動かしながら、動く絵の面白さを発見できます。



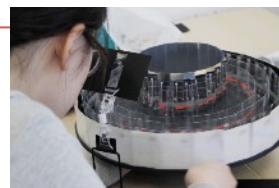
#### ▶プリミティブ・メディア・ラボ in CCBT

【3日間連続】8月11日 (金・祝)・12日 (土) 13:00～16:00、13日 (日) 13:00～17:00

講師：橋本典久 (プリミティブメディアアーティスト) 対象：高校生以上

定員：10名 申込締切：7月7日 (金) まで ※応募者多数の場合は抽選

映像の歴史をたどる「映像前史」をテーマとする3日間連続の集中ワークショップ。視覚装置の仕組みを学びながら、様々な素材を自由に組み合わせて、オリジナルの装置を製作します。



参考：武蔵野美術大学「映像基礎実習」の様子

このほか会期中には展示作品等を解説するトークイベントも多数開催します。

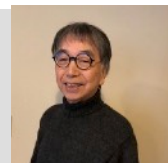
#### CCBT Meetup

##### オープニング記念トーク

古川タク×岩井俊雄 師弟対談「“眼と遊ぶ”達人になろう！」 ※申込不要

7月8日(土) 16:00～18:00

出演：古川タク (アニメーション作家、イラストレーター、絵本作家)、岩井俊雄



ゲスト：古川タク氏

#### 開催概要

##### 岩井俊雄ディレクション

##### 「メディアアート・スタディーズ2023：眼と遊ぶ」

会期：2023年7月7日 (金) ～ 8月20日 (日) 13:00～19:00

※月曜休館 (祝日の場合は開館、翌平日休館)

入場無料

会場：シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]

公式サイト：<https://ccbt.rekibun.or.jp/events/playingwithyoureyes>

主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]  
企画協力：東京都写真美術館

